

提供機関:金沢大・環日センター・臨海実験施設

科目名	海洋生化学演習 (副題:臨海宿泊演習)			復習用ビデオの録画・配信 —	開講期間	4月28日～4月30日			
	英文科目名	Marine Biochemistry		テレビ会議システム —	開講時間	28日13時より～30日:12時まで			
	担当教員	鈴木 信雄		eラーニング —	開講場所	金沢大学・臨海実験施設 (石川県鳳珠郡能登町小木)			
受講定員等	単位数 2単位 定員数 15名 特別聴講学生等定員 科目等履修生定員 シティカレッジ聴講生定員 定員超過時の選考方法等 大学が偏らないように考慮				成績評価の方法	演習の理解度と熱心さ及び結果についての発表で判定する。			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				その他特記事項
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:3月15日～3月23日				臨海実験施設へのアクセスは、自家用車で、能登有料道路を利用して金沢から2時間30分程度、また、北陸鉄道バスによるアクセスも可能である。 海藻を採取するときには、手に軍手をはめ、長靴を着用する。 パジャマ(ジャージでも可)、洗面用具を用意すること。
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	
			教員の指示に従う	9,800円	28,200円	29,600円	教員の指示に従う		
科目の内容	タンパク質と遺伝子レベルの両面から一連の実験を行うには、時間を要する。そこで、臨海実験施設に宿泊し、一連の生化学実験を行う。実習では、食品をテーマにして、海藻を用いた薄層クロマトグラフィー、食品タンパク質の電気泳動、魚の肝臓からのDNAの抽出及びPCR法によるホルモン遺伝子の増幅を行う。さらに実験の待ち時間等に、実験の応用例として教員の研究を紹介し、実験の面白さも体感させる。								
授業担当教員紹介				URL	http://web.kanazawa-u.ac.jp/~ysasayam/index01.htm				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	nobuos@staff.kanazawa-u.ac.jp				